

延岡市第三セクター等経営状況および点検評価結果報告書

1 作成基準日	令和5年6月20日	作成担当課室	北方総合支所 地域振興課	電話番号	0982-47-3600					
2 名称等	名称	一般財団法人速日の峰振興事業団		代表者	代表理事 黒木敏郎					
	所在地	延岡市北方町早中巳1183番地		電話番号	0982-47-2700					
	設立年月日	平成7年3月20日		法人番号	4350005005039					
3 資本金	60,000 (現在額25,000)	千円(市出資額: 60,000 千円)	(出資割合: 100 %)							
4 設立目的	延岡市内の豊かな地域資源を有効に活用した快適な憩いの空間づくりを推進するとともに、交流人口の増加及び若者の定住化により活力あるまちづくりを推進するための事業を効率的に実施することにより、住民の健康と福祉の増進に寄与する。									
5 事業(業務)内容	1. 延岡市内の諸施設の管理運営の受託 2. 勤労者等の余暇活動及び交流人口増加に関する調査ならびに情報の収集及び提供 3. 各種の体験実習、研修、講習、交流事業、イベント等の企画及び運営 4. スポーツ団体、学校等の交流促進に関する事業 5. 公共団体及び民間団体と連携する共同事業の企画及び運営 6. 簡易郵便事業 7. 飲食物その他の物品販売施設の設置及び運営に関する事業 8. その他目的を達するために必要な事業									
6 役員数および給与の状況	【役員】	総数	役員報酬総額 (千円)・R4年度	【正職員等】	総数	平均年齢	給与・賞与総額 (千円)・R4年度			
	役員	6	0	正職員	2	44	7,634			
7 財務状況	貸借対照表	項目	金額(千円)			損益計算書・正味財産増減計算書	項目	金額(千円)		
			R2年度	R3年度	R4年度			R2年度	R3年度	R4年度
		資産合計	37,392	37,048	37,164		経常収益	24,250	27,201	33,168
		負債合計	3,474	4,949	3,511		うち市からの補助金・委託料	17,653	16,775	23,512
		純資産合計	33,918	32,098	33,652		経常費用	28,152	29,021	31,614
		利益剰余金	33,918	32,098	33,652		経常利益(損失)	△ 3,902	△ 1,820	1,554
							当期利益(損失)	△ 3,902	△ 1,820	1,554
				当期利益(減価償却前)	△ 3,769	△ 1,701	1,734			
8 第三セクター等経営状況チェック表による予備的診断評価	A	A	経営努力を行いつつ事業は継続							
		B	事業内容の大幅な見直し等による抜本的な経営改善が必要							
		C	深刻な経営難の状況にあり、経営の観点からは、事業の存廃を含めた検討が必要							
9 第三セクターへの関与の状況	(1)財政的関与									
	項目	金額(千円)			備考(目的、内容、算出根拠等)					
		R2年度	R3年度	R4年度						
	①	運営補助金								
	②	①以外の補助金								
	③	指定管理料	17,653	16,775	23,512	「ETOランド速日の峰」管理運営				
	④	事業委託料								
	⑤	税の減免額								
	⑥	短期貸付金残高								
⑦	長期貸付金残高									
⑧	その他									
(2)人的支援										
<人的支援の内容>										
10 施設利用者等の推移	施設名	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度			
	ETOランド速日の峰来園者(人)	6,772	8,403	7,096	4,028	6,036	7,074			
11 大規模修繕等の計画	【令和5年度】農林漁業体験実習館補修(螺旋階段補修、内部天井部分補修、玄関アルミサッシ補修)<3,789千円> 【令和6年度】バンガロー雨漏り等補修工事<4,910千円> 【令和7年度】ミニコースター解体撤去<17,094千円> ≪老朽化等により今後予想される主な修繕等:水道施設自動逆洗装置更新、バンガロー温水器(灯油式)更新、バンガローその他修繕、農林漁業体験実習館屋根防水など≫									
12 今後の取組み等に関する特記事項(所管課)	小学生宿泊体験事業(小学生キャンプ)は、約10年で参加人数、収益ともに2倍に成長(平成31年度:参加者858人、収支7,544千円)し、当園をけん引する収益事業となっている。リピーターなど延岡ファンの創出にもつながっているため、今後とも注力していく。 また、新たに日帰りイベントの企画やキャンプ泊の取り組みを行う。さらにスポーツ合宿や貸別荘のバーベキュープランの提供などの宿泊事業の充実や、環境・景観に関する情報をSNS等で発信するなど積極的に取り組んでいく。引き続き、イベントの効率化等、経費削減に取り組みながら、外部専門家の意見を取り入れ経営改善に取り組む。									